

【授業前の準備】

- ・宿題ノートや添削課題を教卓へ提出し、お手洗いはすませておいてください。
- ・筆記用具など忘れ物がないかを確認し、忘れ物があるときは受付へ相談しに行きましょう。
- ・スマートフォンなど音が出る機器はサイレント(無音)モードにするか、電源をオフにしましょう。

【授業の受けかた】

- ・飲み物は飲みたいタイミングで飲んでかまいません。食べ物アメやガムをふくめ禁止です。
- ・お手洗いにいきたくなったときや体調が悪いときは、遠慮せず手をあげて申告してください。
- ・授業にふさわしくない言動や姿勢は注意します。
(私語、不規則発言、机えのつつぷし、居眠り、イスあそび、テキスト立て、ペン遊び など)
- ・途中式や答えはテキストに書きこまず、授業用ノートへ実施してください。
(問題文への線引きや図形問題の条件等は書きこんでかまいません)
- ・とくに指示がある場合をのぞき、板書の内容はすべてノートにとるようにしましょう。

【毎回の宿題】 ※ なるべく(1)から順番に実施してください。

- (1)「学習の要点」「授業用ノート」読みこみ・暗記 / 「プリント」実施 (配布された場合)
- (2)「トレーニング」「基本問題」全問実施
- 「トレーニング」は毎回チェックテストを実施します。(プリントの場合もあり)
×問は授業後に解きなおしを指示しますので、毎回満点を目指してください。
- (3)「確認テスト」全問実施
- 【確認テスト実施の流れ】をよく読み、きまりを守って実施しましょう。

難関中を目指している場合で、(1)～(3)を実施したうえで余力があれば下記(4)も実施してください。

- (4)「実力アップ問題集」標準演習の全問実施 / 発展演習の一部実施
- ・「発展演習」は自学が難しい問題もあるため、解説で理解できるところまでの実施でかまいません。

【家庭学習を実施するうえでの注意点】

- ・(2)(4)は宿題提出用ノート、(3)は問題用紙へ直接書きこみで実施・提出してください。
※ ノートは、「授業用ノート」「宿題提出用ノート」の2冊が必要です。
- ・すべての宿題について、「自力で解く」→「○つけをする」→「×問は解説を確認して、なおしをする」
→「×問を自力で解けるまでもう一度解きなおす」の流れで実施してください。

※ 理科に限らずすべての科目でいえることですが、最も力がつくタイミングは「できなかったこと」が「できるようになった」ときです。
学習の効果を最大化するためにも、×問は解きなおしまで実施することを徹底しましょう。

- ・どうしても宿題をやりきれない場合は状況に応じ課題量を調整しますので、必ず相談してください。

【確認テスト実施の流れ】

- ① 名前を書く。
- ② 計算問題や条件整理が必要な問題は確認テストの余白へ途中式や図を書きながら解き、
解答も確認テストへ直接書きこみながら解き進める。
- ③ 解説冊子を確認して、○つけをする。
- ④ 間違えた問題は、解説冊子や授業用ノートを確認して、ミスの修正(直し)やメモをする。
- ⑤ ④で理解をした問題を、余白へもう一度解く。(自力で正解するまで解きなおす)

※ 計算問題や条件整理が必要な問題は、用紙の余白へ入試担当者(添削課題は先生)に
伝わるような途中式・図などを残すことを心がけ、少なくとも答えはていねいに書きましょう。

□ 「×問のなおし」と「×問の再実施」の徹底について

- ・「×問のなおし」は、色ペン(色鉛筆)で間違えたところの修正をおこないましょう。
- ✎ 条件整理や計算が必要な問題は、「どのように解くか」をできるだけ言葉や式を書き残しながら
答えまでの道筋をメモしましょう。
- ✎ 記号問題について、理由を考える必要がある問題は「なぜその答えになるか」の根拠をメモで
残してください。
- ・「×問の再実施」は、1回目に解いたところとは別の場所に、「再実施」「2回目」などを書いてから
自力で解けるまで解きなおしてください。